

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第2回 富士見市スポーツ推進審議会
開催日時	平成30年1月30日（火）19時30分～21時30分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・永井浩幸委員長、谷澤誠副委員長、田中悦子委員、神谷和義委員、松原ふみえ委員、上堀護委員、望月多恵委員 ・事務局（生涯学習課：鳥海課長、中田副課長）
欠席者	佐藤俊博委員、武藤敦委員、小林昌史委員
会議次第	<p>議事</p> <p>（1）報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">①市民総合体育館リニューアルイベント、レスリング教室、ガーデンビーチの指定管理者の更新、市民総合体育館利用状況、東京2020オリンピック・パラリンピックに関する市の取り組みについて</p> <p>（2）協議事項</p> <p style="padding-left: 2em;">①富士見市スポーツ推進計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進捗状況と今後の取り組み ・総合型地域スポーツクラブ <p>（3）その他</p>
会議資料	<p>資料1 東京2020オリンピック・パラリンピックに関する市の取り組み</p> <p>資料2 計画の進捗状況と今後の取り組み</p> <p>資料3 総合型地域スポーツクラブ</p>
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	永井浩幸会長

会議内容

1 開 会

- 2 あいさつ 永井会長
鳥海生涯学習課長

3 議 題

(1) 報告事項

事務局…リニューアルオープンした市民総合体育館の記念イベントについて説明する。第一弾としては、第42回日本ハンドボールリーグ戦(9月9日、11月18・26日)。そのうち、9月9日と11月18日には小学生を対象としたハンドボール体験教室を実施する。講師は、元ハンドボール日本代表で、現大崎ハンドボールジュニアチームのコーチをされている内田雄士さん、大崎OSOLのマネージャーである染谷雄輝さん。それぞれ教室の参加者数は31人、20人。また、11月26日の公式戦では大崎電気の協力のもと、市民限定で公式戦のチケットプレゼント(100人分)を実施。広報で募集したところ、定員を上回る申込者がいた。また、リニューアルイベント第二弾として、11月5日にはバドテニス大会(参加者58人うち外国籍5人)を実施。今回は初の試みとなる外国籍の方を交えた国際大会としても開催する。

事務局…次にレスリング体験教室についての説明を行う。ロンドンオリンピック女子48kg級金メダリストの小原日登美さんを講師に招き、9/23、10/7、14、21、11/11、25、12/2、9、16、1/13、20、27に実施する。2月は3、17、27日を予定、3月は日程調整中。各回定員20人のところ、定員を上回る応募がある。

事務局…続いて、ガーデンビーチに関する説明。29年度から5年間で新たに指定管理者を更新する。募集したところ1社が申し込みをし、指定管理者は引き続き株式会社協栄となる。今年度の来場者数は56,893人で前年度の54,571人と比較すると増加している。次に、市民総合体育館利用状況についての説明。12月現在で92,275人の利用者がある。うちスポーツジム・スタジオ利用者数は21,293人。1月現在の登録者数も3,500人を超えている状況。最後に、今年度における東京2020オリンピック・パラリンピックに関する市の取り組みについて資料1に基づき説明を行う。2月7日に関係各課を招集し、セルビア共和国とのホストタウン締結に向けた取り組みについて確認を行う予定。また、資料にはないが、今年度、富士見市は入間地区13市町で構成している入間地区社会体育連絡協議会の会長市(事務局)となっており、障がい者スポーツの普及

及の観点から、ゴールボールのナショナルトレーニングセンターとなっている所沢市民体育館においてゴールボールの研修会を開催する。

委員…報告事項については質疑なし

(2) 協議事項

①富士見市スポーツ推進計画について

事務局…市スポーツ推進計画に基づき平成29年度に生涯学習課スポーツGで実施した主な取り組みについて資料2に基づき説明する。具体的には計画中の基本目標1～4について、それぞれ実施した取り組みやイベント、来年度開催予定の大会(ハンドボール公式戦、社会人レスリング大会、関東中学生レスリング大会及び全国ろうあ者スポーツ大会)等について説明を行う。スポーツ推進委員、体育協会との事業をはじめ、フレンドリーシティー協定に基づく取り組みや総合型地域スポーツクラブに関する視察・研究、市民総合体育館指定管理者の選考、市民総合体育館のスタジオを活用した市の健康事業などを実施していく予定。

事務局…続いて、1月26日にふじみ野市で総合型地域スポーツクラブの創設・運営に携わっている、ふじみ野ふあいぶるクラブの篠島会長から創設までの経緯や現在の運営状況、今後の課題などお伺いした内容について説明する。

課長…本日は計画の進捗状況を説明させていただきましたので、これに対する評価やこうしたほうが市民スポーツにとっては良いのではないかなど、自由なご意見をお願いします。また、障がい者スポーツに対する取り組みとして、地区体育祭の競技種目の中に障がい者にもできる種目を入れていきたいと考えている。さらに、健康づくりの取り組みの一つとして、行政によるスポーツジム・スタジオの有効活用も検討中である。

【意見交換】

会長…入間地区女性スポーツ推進委員研修会の際に、富士見市発祥のバドテニスを行ったが、鶴ヶ島市でもやりたいとの依頼があった。

委員…バドテニスについては、全面的に協力していけるので、そうした要望があれば協力したい。

委員…県の広報に連絡してテレ玉でも紹介してもらえば、興味をもってやってみたいという団体や個人もでてくるのではないかな。

事務局…平成28年度にバドテニスの団体や本日出席されている委員の方にもご協力をいただき、テレ玉で紹介して頂いた。今後もそうした働きかけをしていきたい。

委員…総合型地域スポーツクラブのような取り組みについては、以前、体協の山口氏を中心に南畑で行われていたと思う。話を伺ってみるのもよいと思う。3/18にバ

レーボール教室を川越のバレーボールチーム、アザレアを招いて行う。先程、スポーツ推進計画の説明の中でヘルシーウォーク等に市の PR 大使を招いたと説明があった。行政関係では呼べても、一般市民の主催で行うイベントに呼ぶとなると難しいだろうが、そうしたことが出来ると非常に良いと思う。現在、中学校の部活動が少なくなっている。指導者不足などいろいろな理由があるようだが、そうした状況を解決するにはクラブチームを立ち上げて、例えばスポーツ店にスポンサーとなってもらう方法もあると思う。大崎電気の話もあったが、以前、大崎ハンドボールチームで活躍していた東氏など三芳在住だが、協力的なのでそうした方に総合型スポーツクラブについて相談してもいいのではないかな。

事務局…3/3に生涯学習課で指導者養成講座を開催するが、今、話のあった元ハンドボール日本代表の東氏を委員から紹介して頂き、講師に招くことができた。

委員…バトテニスの国際大会には、私も協力・参加したところだが、できれば年に1回ではなく、2回、6月頃にも開催してほしい。

事務局…開催にあたっては、スポーツ推進委員の協力が必要となるため、今後、そうした協力が得られるか含めて検討していきたい。

委員…スポーツ推進委員も協力して新体力測定を行っているが、三芳町と比べると器具も少なく、参加者も少ない。市でもっとアピールしてはどうか。器具も一度にそろえるとなると大変だろうが、三芳にあるような器具も買い揃えてほしい。ぜひ、三芳を視察してほしい。富士見市だと1週間後に測定結果が送られてくるが、三芳町ではその場でデータが出る。三芳の新体力測定の日ちょうど台風が来ていたが、参加者は100人を超えていた。

事務局…調査して、魅力ある機器を取り入れていけるように働きかけていきたい。

委員…埼玉県の小中学生は全国的にも投力が低い。三芳には中学の部活でハンドボール部があったと記憶しているが、富士見市でもせつかく小学生対象のハンドボール教室やレスリング教室をやっているのだから、部活を設けられるとよい。

委員…昔の学習指導要領では課内クラブと課外クラブ(部活)とあったが、文部省時代に一緒になって部活だけになった。部活動は指導者不足も指摘されているが危険な種目は減っていく傾向にあると感じる。また、生徒の取り合いや場所の取り合いも起きている。過去に陸上部の練習中、ハンマーが頭部にぶつかり、亡くなった生徒さんがいた。

委員…現場の教員は疲弊していると思う。だからこそ、クラブチームの必要性が高まっていると思う。

委員…中学生の子ども達もやりたいスポーツができる。競技スポーツだと勝ち負けにこだわってしまうが、文科省の進めている総合型スポーツクラブは中学校区に1つをイメージとしており、勝ち負けよりも競技を楽しめる、場所の取り合いも解決していけると思う。成功例として愛知の半田市がよく紹介されているが、仕事で

その立ち上げにかかわってきた方々とお付き合いがあるので、視察するのであれば言ってほしい。

委員…半田市の総合型地域スポーツクラブは成功例としても有名。蕨で立ち上げにかかわった際にメンバーが視察に行った場所。市でも視察に行ってもどうか。

委員…バドミントンであれば、土日なら勝瀬小の体育館でやっているの、親子などペアで来ていただければ指導もできる。

委員…スポーツ少年団で武道の指導をしているが、地域にはかくれた人材が必ずいる。わらび 2003 スポーツ委員会のメンバーとして総合型スポーツクラブの立ち上げにも携わったが、専門知識を有する方もいるはずなので、ぜひ広く声をかけて総合型地域スポーツクラブの創設に向けた取り組みを進めて欲しい。

委員…ヨーロッパでは場所、選手の取り合いにもなっている。アメリカではシーズンごとでいろいろなスポーツを行っている。そのため、ジョーダンのようにバスケットと野球の両方で活躍した選手もいる。

委員…同じ競技だけだと、故障の原因にもなる。いろんなスポーツを楽しむことが理想的だ。人口減少でどの競技もスポーツ人口が減少している。裾野が狭くなっているということは、それだけ頂点も低くなっていく傾向があるかもしれない。

委員…今の小・中学生、これからの子ども達の成長のために、何ができるのか。

委員…意外と競技ごとで仲が悪い。いろんなところで二極化が進んでいる。お金がある人はいろいろと経験できるが、できない。総合型スポーツクラブを作る中でスポーツに関しては、二極化も解消できればと思う。

委員…子どもの関わる組織が多すぎる。学校にはあまり期待できない状況もある。保護者の考えも大きい。いろいろな機会を親が子どもに与えられるかということもあるが、さまざまな体験ができるような場所もないので、そうしたことから短期・長期で対策を考えていく必要がある。

委員…ゲームやスマホばかりしていることが一因なのか、コミュニケーションのとれない子どもや運動の苦手な子どもが多いと感じる。国レベルでも対策を考えた方がよい。引きこもって働かない人が増えてしまうと、この国はどうなってしまうのか。昔は、企業や学校がスポーツ界のパトロンだったが、今はどちらも厳しい。部活も限界にきているかもしれない。部活の試合で審判もいない。専門外の先生ばかり。大人が仕組みを作るしかない。壁があるから進む。皆で力を合わせて作っていく必要がある。

委員…どこの学校にいても部活だけ、選べてやれると良いかも。

事務局…さまざま貴重なご意見を伺えた。ご意見をもとに市民スポーツの推進ができるよう、また、総合型スポーツクラブについても検討していきたい。